

# しらぬか

# 議会

NO.150  
2020.10.23

# だより

- 2 令和元年度決算の概要
- 6 令和2年第3回定例会概要
- 8 一般質問7名
- 16 委員会・協議会の動き
- 18 アトキノシツギ



## ナイスショット

(交通安全パークゴルフ大会の出場者の皆さん)

## 救急・消防には？

### 消防業務の委託

2億9,893万円

(町2億9,893  
前年2億9,593)

担当：地域防災課消防調整係

○消防人件費 2億6,040万円  
○事務費等 1,743万円  
○委託管理費 2,110万円  
本町に本部を置いていた釧路西部消防組合が平成17年に解散となり、現在は常備消防の業務を釧路市に委託しています。

### 消防設備の整備

16億3,458万円

(補2億4,442 町2,065  
起13億4,040 他2911  
前年8,742)

担当：地域防災課消防調整係

○消防団等の装備更新 227万円  
○消防庁舎改築事業 15億4,915万円  
○消防ポンプ自動車の整備 8,316万円

## 生活環境には？

### し尿処理



7,453万円

(町3,892  
起100 他3,461  
前年6,678)

担当：町民サービス課生活環境係

○し尿の収集・処理 7,091万円  
○合併処理浄化槽補助金 362万円  
し尿の収集と処理のほか、下水道未整備地区の世帯を対象に、合併処理浄化槽の設置等に対して補助金を支出しました。  
※下水道の処理分については、下水道会計で対応しています。

### ごみ処理

1億5,570万円

(町1億2,144 他3,426  
前年1億6,587)

担当：町民サービス課生活環境係

○ごみの収集・処理 1億5,311万円  
○地域環境整備助成金 214万円  
○環境衛生会への助成 45万円

## 令和元年度

決算

## まちのお金は 何に使った？

PICK UP!

## 公共施設には？

### 道路・橋・河川の管理

6億8,155万円

(補1億3,135 町2億6,389  
起2億8,410 他221  
前年7億9,225)



担当：建設課土木都市計画係

○道路維持・改良舗装 5億6,451万円  
○橋の架替・補修 1億259万円  
○河川管理・排水路整備 1,445万円

道路の維持については草刈りや補修、除雪等にかかる経費です。  
河川については馬主来川、オクネツ川浚渫等を行いました。

### 施設の管理



2億947万円

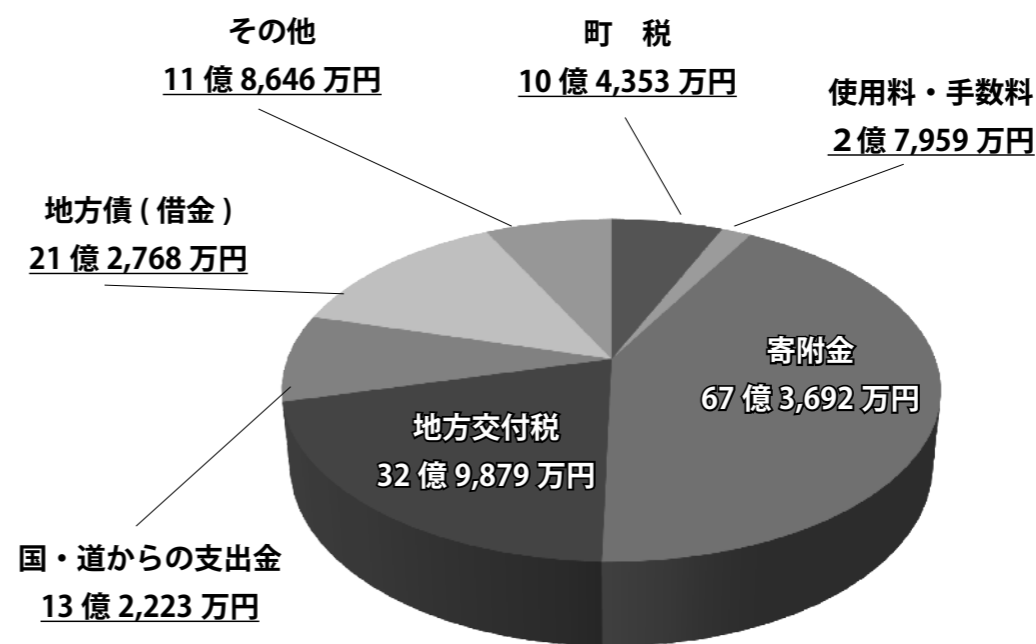
(補3,492 町3,157  
起1億3,400 他898  
前年1億5,531)

担当：建設課土木都市計画係  
住宅管理係  
企画財政課地域振興係

○公営住宅の改修等 2,529万円  
○公園遊具等改修 1億64万円  
○各集会所の管理 764万円  
○鉄北集会所の改築 5,715万円  
○その他の施設管理 1,875万円

橋北団地の屋根の葺替え等のほか、老朽化した鉄北集会所を改築しました。

## ▼一般会計歳入 159億9,520万円



## ▼一般会計歳出 158億8,437万円

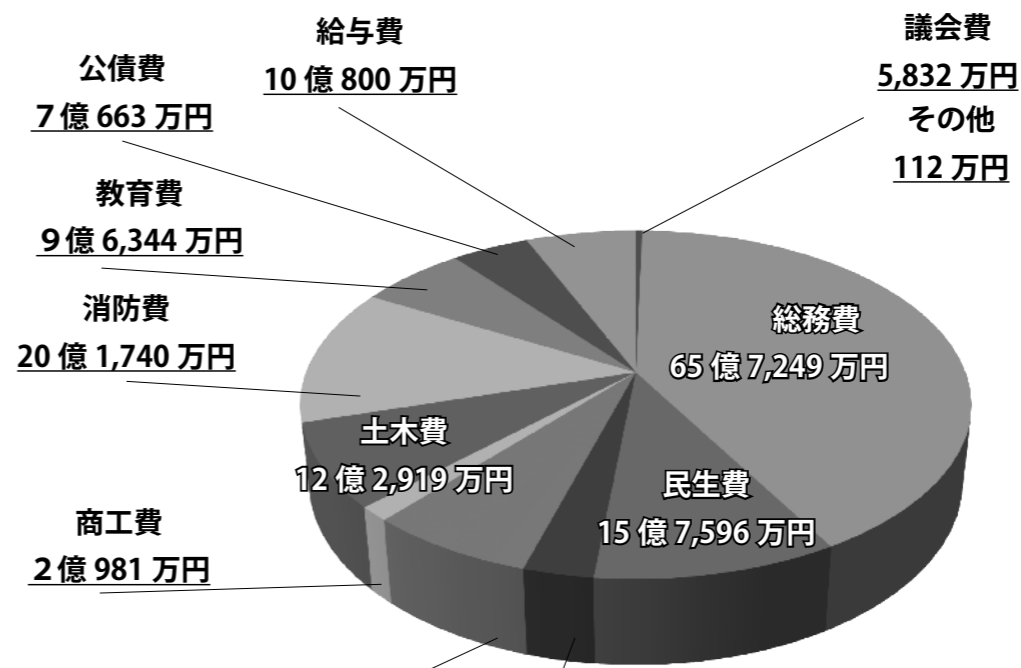


表1 【令和元年度各会計決算額】

	歳入	歳出	差し引き
一般会計	159億9,520	158億8,437	1億1,083
国民健康保険特別会計	10億2,571	10億1,354	1,217
簡易水道及び飲用水道供給事業特別会計	6,144	5,883	261
公共下水道事業特別会計	5億4,112	5億3,408	704
介護保険特別会計	9億7,313	9億4,975	2,338
後期高齢者医療特別会計	1億2,914	1億2,906	8
合計	187億2,574	185億6,963	*1億5,611

令和元年度末基金合計 69億7,374万円

前年比24億4,626万円の増 ↑人口1人当たり※約92万円

令和元年度末起債残高 124億6,934万円

前年比14億6,255万円の増 ↑人口1人当たり※約164万円

※令和元年度末人口7,616人

※この内、交付税の計算に算入される優良債がおよそ8割を占めます。

(※1 差し引き後、残金の一部を積立等を行い、残りを繰り越しました。)

令和元年度決算の概要

ふるさと納税 寄附額全国4位

67億円突破!!



### 高齢者には？

#### 高齢者福祉

1,017万円

（補 100 町 154  
起 400 他 363  
前年 845）

担当：社会福祉係

- 生き活かしらぬか事業・健康入浴 72万円
- ・ふれあい交流 232万円

- ・日帰り温泉 181万円
- ・外出支援助成 532万円



帰郷温泉事業

高齢者の生きがいや健康づくりを推進するため、外出の支援、音楽会等を行い、高齢者福祉の増進を図りました。

### その他

#### ふるさと納税

37億5,720万円

（他 37億5,720  
前年 20億6,754）

担当：企画財政課

ふるさと納税推進係

- 寄附額 67億3,339万円

寄附額の内左記を返礼品代等として、残りの29億7,619万円を町の基金に積み立てしました。

#### 工業用水道

9,121万円

（町 9,121  
前年 9,766）

担当：企画財政課企業誘致係

- 釧路白糠工業用水道企業団負担金 9,121万円

釧路・白糠工業団地へ工業用水を供給している企業団に対し、負担金を支出しています。

#### 人件費

12億8,444万円

（補 4,027 町 11億9,527  
他 4,890  
前年 12億5,136）

担当：総務課職員係ほか

- 議員・各委員等報酬 1億8,671万円
- 職員給料・手当 7億9,809万円
- 共済費等 2億9,964万円

議員・各委員等報酬の増、選挙等による超過勤務手当が増えたことにより、前年の人件費を上回りました。

### 教育には？

#### 小中学校施設整備・管理



ゴムチップ舗装後の階段

3,850万円

（町 3,234 他 616  
前年 3億5,497）

担当：教育委員会管理課学校建設係

- 白糠小中学校統合施設整備 3,234万円
- 茶路小中学校木道改修工事 616万円

茶路小中学校玄関前の木道を芝生に、木製階段をゴムチップ舗装し、児童生徒の安全確保を図りました。

.....

#### 教育環境

9,595万円

（補 1,718 町 6,500  
他 1,377  
前年 6,731）

担当：教育委員会管理課総務係・学校教育係

- 就学の支援 587万円
- 教育環境の充実 6,003万円
- 白糠高校の魅力化 3,006万円

入学支援金として、児童・生徒1人につき2～3万円の商品券を配布しています。

### 文化・スポーツには？

#### スポーツ施設の管理

1億5,658万円

（町 9,034 起 6,610  
他 14  
前年 1億3,246）

担当：社会教育課スポーツ推進係

- 総合体育館やパークゴルフ場等の管理 6,184万円
- 温水プールの運営 2,804万円
- 温水プールの改修事業 6,670万円

.....

#### 文化活動団体への助成

816万円

（町 396 起 420  
前年 525）

担当：社会教育課文化振興係

- 郷土芸能団体への助成 332万円
- 総合文化祭等の開催 140万円
- 観光地域づくり推進事業 344万円

### 出産・子育てには？

#### 出産支援

460万円

（補 14 町 279  
起 150 他 17  
前年 393）

担当：介護健康課健康管理係健康相談係

- 不妊治療費の助成 182万円
- 妊産婦の交通費助成 37万円
- 母子健康手帳交付等 111万円
- 出産祝い金 130万円

#### 子育て支援

3億203万円

（補 1億1,475 町 1億7,918 他 810  
前年 3億1,838）

担当：福祉課児童福祉係学校給食センター

- 保育園の運営等 2億3,179万円
- 児童館の運営等 3,445万円
- 保育料の無料化 1,815万円
- 給食費の無料化 1,764万円

### 医療・健康・介護には？

#### 医療費の助成等

2億9,785万円

（補 9,734 町 1億9,005  
起 700 他 346  
前年 2億9,636）

担当：町民サービス課保険年金係、福祉課社会福祉係・児童福祉係

- 国民健康保険特別会計への支出 8,582万円
- 後期高齢者医療特別会計等への支出 1億5,158万円
- 重度心身障がい者医療費の助成 1,627万円
- 子どもへの医療費の無料化 2,100万円
- ひとり親家庭等医療費の助成 425万円
- リハビリテーション医療の支出 1,893万円

#### 健康管理と介護

1億9,024万円

（補 155 町 1億8,067  
他 802  
前年 1億9,899）

担当：介護健康課

- がん検診・基本健診等 2,135万円
- 介護保険会計への支出 1億6,087万円
- 保健施設の管理 802万円

健康診査事業のほか、予防接種事業やがん検診を実施しました。

### 産業振興には？

#### 商業振興



結婚活動支援イベント

5,011万円

（補 38 町 2,973  
起 2,000  
前年 4,333）

担当：経済課商工係

- 商工経済団体への支援 3,257万円
- しらぬか魅力発信事業 1,659万円
- 東京23区等との広域的な連携 95万円

しらぬか魅力発信事業としてプロモーション活動費等を支出したほか、商工業の振興及び経済の活性化事業の実施に対し助成しました。

#### 農業振興

1億184万円

（補 5,511 町 2,534  
他 2,140  
前年 7,590）

担当：経済課農政係

- 新産業構築事業 415万円
- 道営草地整備事業 1,866万円
- 農業振興団体協議会への助成 381万円
- 農業者・集落等への支援 6,778万円
- 新規就農者等支援事業 744万円

#### 林業振興

1億3,147万円

（補 7,282 町 3,246  
起 2,480 他 139  
前年 1億195）

担当：経済課林業係

- 林業団体への支援 197万円
- 林道の整備 956万円
- エゾシカ被害対策 3,856万円
- 民有林の整備 671万円
- 町有林の整備 7,467万円

#### 水産業振興

4,895万円

（補 1,480 町 809  
起 910 他 1,696  
前年 7億8,044）

担当：経済課水産係

- さけ中間育成施設・ししゃも人工ふ化場管理 590万円
- マツカワ種苗購入事業の支援 100万円
- 漁船操業用機器等の購入支援 210万円
- 白糠漁港整備事業 919万円
- 荷さばき作業効率化対策事業 3,076万円

## 規約の変更

次の組合を組織する構成団体の解散に伴い、各組規約の変更を議決しました。

- ・北海道市町村総合事務組合
- ・北海道市町村職員退職手当組合
- ・北海道町村議会議員公務災害補償等組合



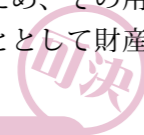
## 財産の処分

### 地域密着型介護施設用地

現在、白糠町社会福祉協議会が庶路宮下地区で運営している「ケアホーム春風」の建物の老朽化が著しいことから、建物を新築するため、その用地として、町有地を無償譲渡することとして財産処分するものです。

### 質疑・答弁

- 問** 建物建設の入札の見直しは。
- 答** 道の交付金によるため、入札は道の基準で10社を指名をしなければならず、町内業者は3社が該当するが、それ以上の内容は、承知していない。



## 意見書

- 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
- 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書
- 国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書

可決した意見書は、内閣総理大臣をはじめ関係大臣、衆・参両議院議長に提出しました。



## 条例等

### 一部改正・制定

- 無償譲渡を行っている定住宅地に、「旧西庶路朝日公営住宅跡地」を追加することに伴う改正
  - ・白糠町定住宅地の無償譲渡に関する条例
- 地方税法の改正に伴う改正
  - ・町税条例



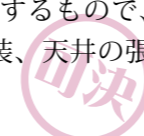
### 質疑・答弁

- 問** 寡婦（夫）控除の見直しによる寡夫の扱いは。
- 答** 寡夫控除はひとり親控除に区分され、男性・女性関係なく所得500万円以下の全てのひとり親が30万円の住民税所得控除を受けられることになりました。

## 契約の締結

### 温水プール内部改修工事

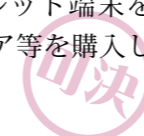
「白糠町温水プール」の内部を改修するもので、プール室の床タイルの張替え、壁塗装、天井の張替え、水槽の塗装を行います。



## 財産の取得

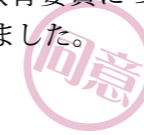
### タブレット&学習ソフト

高速大容量の通信ネットワークの活用を前提として、児童生徒に一人1台のタブレット端末を整備し、付帯する学習用ソフトウェア等を購入します。



## 委員の任命等

- 固定資産評価委員選任の同意
  - 9月30日に任期満了を迎える固定資産評価審査委員について、新たな3年間の任期での選任に同意しました。
  - ・峯田 悟
- 教育委員会委員任命の同意
  - 10月15日に任期満了を迎える教育委員について、新たな任期での任命に同意しました。
  - ・岸本 秀彦



## 2年度補正予算

### 一般会計補正予算 補正合計5億6256万2千円

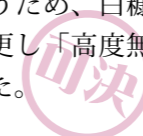
●増額	
新型コロナウイルス感染症対策関連	536,964,000円
総合行政情報システム等保守・処理業務	2,750,000円
公共施設用地取得関係	500,000円
介護サービス提供基盤等整備事業	11,900,000円
白糠小中学校ほか統合事業	8,424,000円
給食の無償提供関係	1,834,000円
返還金	190,000円

### 質疑・答弁

- 問** GIGAスクールについて、ソフト面は万全な体制で臨めるのか。また、納入業者のサポートなど今後、受けられるか。
- 答** 学校での使用は、指導はできると考えている。オンライン学習で児童生徒が適切に取り扱うことができるか、サポートも並行して進める。納入業者のサポートはサポート業務の中で速やかに対応出来るように取り進める。
- 問** 公有財産購入費について、建物の除却費はいくらか。また、この場所の課税価格は。
- 答** 道単価で積算すると400万円ほどになる。この地区の路線価が平米当たり9,100円となっている。
- 問** 介護サービス提供基盤等整備事業について、ケアホーム春風の施設、現在の利用者の数と最大どのくらいが見込まれるのか。
- 答** 登録者は、現在29人。  
通所介護と認知症対応型通所介護、1日各定員10名。一週間での最大利用者数は、100名。

## 過疎計画の変更

過疎対策事業債を財源に事業を行うため、白糠町過疎地域自立促進市町村計画を変更し「高度無線環境整備推進事業」を追加しました。



# 第3回 定例会

- 9月14日
  - 一般質問
  - 令和元年度の決算審査を特別委員会に付託
- 9月15日
  - 専決処分の承認
  - 条例改正
    - ・ 令和2年度補正予算
    - ・ 工事請負契約の締結
    - ・ 財産の取得
    - ・ 財産の処分
    - ・ 過疎計画の変更
    - ・ 組規約の変更に関する協議
    - ・ 教育委員会委員任命の同意
    - ・ 固定資産評価審査委員会委員選任の同意
- 9月18日
  - 令和元年決算審査特別委員会審査報告
  - 意見書

## 決算審査特別委員会

令和元年度一般会計及び特別会計の決算審査のため、議長と議会選出監査委員を除く、11名の議員により「令和元年度白糠町各会計決算審査特別委員会」を設置しました。

委員長に山吉公徳議員、副委員長に中河敏史議員を互選し、9月16日、17日の2日間にわたり、各課から新規事業等の説明を受け、慎重に審査を行いました。

決算の内容は、2ページから5ページに掲載しています。





# 問い合わせ 提案する

# 一般質問

議員7名が16件19項目について質問しました。  
※一般質問より1人90分以内で、町長・教育長にたいして広く町政に関する説明を求めます。

中河 敏史 議員・・・・・・・・・・・・・9ページ  
1 介護支援のためのアンケート調査について

中村 仁志 議員・・・・・・・・・・・・・10ページ  
1 応援券の使用率について  
2 中学生のスマホ持ち込みについて

小野 キサ 議員・・・・・・・・・・・・・11ページ  
1 逍遥公園の整備について  
2 学校における新型コロナウイルス感染予防対策について

坂本 勝雄 議員・・・・・・・・・・・・・12ページ  
1 庶路学園造成地下の側溝整備について  
2 町花キンセンカの普及について

鎌田 民子 議員・・・・・・・・・・・・・13ページ  
1 新型コロナウイルス感染症から町民の命と健康を守る対策について  
2 コロナ禍における高齢者の健康づくりの対応について  
3 基準日以降に生まれた新生児への給付について  
④「白糠町文化会館の建設」記載の削除について

澤原 孝行 議員・・・・・・・・・・・・・14ページ  
1 オクネツ川の上砂や草の除去について  
2 水素技術実証事業の成果について

福地 裕行 議員・・・・・・・・・・・・・15ページ  
1 PCR検査センター設置について  
2 核のごみ問題について  
3 エネルギーの森について

※白抜きの数字は紙面の都合により掲載できなかったものです。

## 一般質問



中河 敏史 議員

**問** 6月の定例会において公的な介護サービスには限界があり町の支援が必要との質問に対して、支援のためのアンケート調査中とのことであった。調査結果を踏まえたいうえでの支援は。

**答** 次年度にむけ検討中

**問** 6月の定例会において公的な介護サービスには限界があり町の支援が必要との質問に対して、支援のためのアンケート調査中とのことであった。調査結果を踏まえたいうえでの支援は。

**答** 6月の定例会において公的な介護サービスには限界があり町の支援が必要との質問に対して、支援のためのアンケート調査中とのことであった。調査結果を踏まえたいうえでの支援は。

**問** 6月の定例会において公的な介護サービスには限界があり町の支援が必要との質問に対して、支援のためのアンケート調査中とのことであった。調査結果を踏まえたいうえでの支援は。

**答** 6月の定例会において公的な介護サービスには限界があり町の支援が必要との質問に対して、支援のためのアンケート調査中とのことであった。調査結果を踏まえたいうえでの支援は。

**問** 6月の定例会において公的な介護サービスには限界があり町の支援が必要との質問に対して、支援のためのアンケート調査中とのことであった。調査結果を踏まえたいうえでの支援は。

**答** 6月の定例会において公的な介護サービスには限界があり町の支援が必要との質問に対して、支援のためのアンケート調査中とのことであった。調査結果を踏まえたいうえでの支援は。

**問** 6月の定例会において公的な介護サービスには限界があり町の支援が必要との質問に対して、支援のためのアンケート調査中とのことであった。調査結果を踏まえたいうえでの支援は。

**答** 6月の定例会において公的な介護サービスには限界があり町の支援が必要との質問に対して、支援のためのアンケート調査中とのことであった。調査結果を踏まえたいうえでの支援は。



**問** 6月の定例会において公的な介護サービスには限界があり町の支援が必要との質問に対して、支援のためのアンケート調査中とのことであった。調査結果を踏まえたいうえでの支援は。

**答** 6月の定例会において公的な介護サービスには限界があり町の支援が必要との質問に対して、支援のためのアンケート調査中とのことであった。調査結果を踏まえたいうえでの支援は。

**問** 6月の定例会において公的な介護サービスには限界があり町の支援が必要との質問に対して、支援のためのアンケート調査中とのことであった。調査結果を踏まえたいうえでの支援は。

**答** 6月の定例会において公的な介護サービスには限界があり町の支援が必要との質問に対して、支援のためのアンケート調査中とのことであった。調査結果を踏まえたいうえでの支援は。

## 議会に足を運んでみませんか。

町民みなさんの議会です。

定例会開会前に役場1階ロビーで会議日程及び一般質問の概要を掲示しております。

町のホームページにも議会情報を掲載しております。

<https://www.town.shirenuka.lg.jp/>

## 傍聴者へのお願い

- 1 携帯電話、スマートフォンは電源をお切りください。
- 2 開議中は、飲食・喫煙はできません。
- 3 カメラ・録音機器の持ち込みはできません。
- 4 私語などにより議事の妨害、他人への迷惑をかけないようにして下さい。
- 5 帽子、オーバーコート等は着用しないで下さい。





中村 仁志 議員

**問** 元気しらめか応援券 事業の実績効果は

**答** 好評いただき町民 全体に広く活用で きた

**問** 応援券第一弾の飲食店専用券とフリー券の使用実績及び第二弾の使用状況、実施効果について伺う。

**答** 5月7日から7月末までの使用率が96・33%、8月1日から8月31日現在での使用率が26・26%だった。

新型コロナウイルス感染症による外出自粛など経済活動が縮小する中、商工業者、特に飲食店等への支援とともに、町民の皆様に元気と活力を取り戻していただくことを目的に実施したが、実施効果として、適切な対応のお陰で関係者からも好評と商工会から聞いている。

全体の利用率も約98%の実績となり、経済的被害や精神的苦痛を受けてきた町民全体に広く活用いただいたと思う。引き続き第三弾応援券と合わ

せ町民の皆様は活力を取り戻すことができるよう鋭意取り組んでいきたい。



**問** 中学生の学校へのスマホ持ち込みは

**答** 共通ルールについて合意した場合、特例として認める

**問** 文部科学省は、中学生の学校へのスマホ持ち込みを条件付きで容認したが、町としての見解を伺う。

**答** 中学校については、部活動等により帰宅時間が遅くなる場合もあり、災害時等の緊急の連絡手段として活用すること等を勘案し、下校時の連絡手段として活用したいといった保護者の要望がある場合に、学校と保護者、生徒の間で、管理の徹底、紛失等のトラブルが発生した場合の責任の所在の明確化、フィルタリングの設定など、携帯電話の取扱いに関する共通のルールについて合意された場合には、特例として持ち込みを認めるとされている。

白糠町教育委員会では、今後、国の方針に基づいて「学校における携帯電話の取扱



い」についての指導方針を定め、学校・保護者に周知を図り、学校に携帯電話を持ち込む場合には、先に示した共通ルールの他、登校後学校に預け、帰りに返却する等の取扱い規定を設けるなど、各学校における中学生の携帯電話の持ち込みが適切に行われるよう指導していきたい。



小野 キサ 議員

**問** 逍遙公園の整備について

**答** 安全安心に利用できるように対処する

**問** 逍遙公園内の池の泥処理や花壇ボックス等の整備と手洗い場の設置について。

**答** 池の泥は、流れ込む水の沈殿物と落葉が長年にわたり堆積したもので、近年は泥の増加に伴い、水草が繁殖して水の流れが阻害され、水がよどんで景観を損ねている状況にあるので、池の在り方も含め利用しやすい施設を検討する。花壇ボックスは補修等を速やかに実施するとともに、植栽は関係団体と相談し美化に努める。

手洗い場は、トイレの入口横に設置しているので、手洗い場の看板を設置し新設は考えていない。

**問** 遊具・運動遊具の使用上における安全看板等の設置と吊り橋の保安点検について。

**答** 遊具・運動遊具については、対象年齢の表示や利用方法を示す案内看板とともに、新型コロナウイルス感染症対策に関する看板も設置する。公園内の吊り橋は日常のパトロールで目視点検し、異常を発見した都度修繕を実施している。今後はパークゴルフ場が隣接したことにより通行人が増加したため安全点検の強化に努める。



逍遙公園の吊り橋

**問** 文科省の指導に基づき徹底する

**答** 学校における感染症予防対策について

**問** 新型コロナウイルス感染症対策として、「3密」にならない対応に加え、教室内の密閉の回避に必要な網戸等の設置状況と取り組みについて。

**答** 町内のすべての小・中・義務教育学校において、可能な限り常時窓を開け換気を行っているが、害虫等の侵入のたに授業を一時中断することもある。現在網戸が設置されているのは庶路学園のみであり、今後は山間部に位置し有毒害虫の侵入が過去に発生している茶路小中の全教室と屋体に設置する。(76箇所)

冬期間は常時窓を開放できないため、短時間で換気を行えるよう、全ての学校に送風機を配置する。(57台)

**問** 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学校行事の影響と今後の行事予定と感染予防対策について。

**答** 修学旅行・宿泊研修は、白小・茶路小中・庶路学園では8月中旬に道内各地で実施し、白中は10月実施予定である。運動会・体育祭は、庶路学園・白中は9月8日と9日で行われ、茶路小中・白小では9月中旬に実施予定である。

学芸会・文化祭は白中が9月、茶路小中は12月に実施予定、白小・庶路学園では、3学期に文化的な発表の場を学年やブロックごとに開催予定である。行事での感染対策は、日常的予防対策の徹底と参加者の制限など「3密」を避ける指導を行った。

宿泊行事では時間的に余裕のあるスケジュールと道の教育旅行支援事業を活用し複数台のバスでの移動とした。

「学校の新しい生活様式」による体育・給食・部活動の予防対策は、文科省の指導に基づき徹底し安全安心の学校生活に万全な対応に心がけている。





坂本 勝雄 議員

**問** 庶路学園下の側溝整備について

**答** 維持管理に努めるとともに適宜整備していく

**問** 庶路学園下に造成地を作ったことにより、今年3月の雪解けと大雨による洪水によって、西庶路西1条北1丁目3〜4、西2条北2丁目1〜2の地区が土砂の流出、床下浸水の被害を受けている。早期の側溝整備と排水溝整備が必要と考えるが伺う。

**答** 今年3月10日の大雨は、災害に匹敵する降水量があり、前日も60cmの降雪があったことから、側溝内に積もった雪が解ける前に雨水が住宅地の一部に流れ込み、ご迷惑をおかけした。今後は、冬期間における降雨時に側溝の状況確認を行い、維持管理に努めるとともに、適宜整備して行く考えである。

**問** 造成地整備前は、雪どけ、大雨の時でも水害が起きたことがなかった。ここ数年の異常気象で、今年7月の九州地方の集中豪雨、8月には宗谷地方にも大雨が降り大きな被害を受けている。いつ白糠にも大雨が降るか分からない。もしもの時どう対応するか伺う。

**答** 側溝のパトロール、点検をして、流れが阻害されている状況であればすぐに対応し、維持管理に努めたいと考えている。



現在の側溝の様子

**問** 町花「キンセンカ」の普及について

**答** 広く啓蒙を図り普及を進める

**問** 町花は、輝く太陽に向かって美しく咲くキンセンカであるが、特に庁舎前、各町内会、公園、駅前花壇を見ても植えられて無いに等しく思える。町中にもっとキンセンカを植えるべきと思うが考えを伺う。

**答** 町花「キンセンカ」は昭和49年に開基90周年を記念し、「誰もが気軽に植えられ、花の期間が長く生命力が強い」ということで選定された。今年は特に花壇にキンセンカが少ない状況で、理由としては、種まきの時期に新型コロナウイルス感染症の影響で生産者が人手不足になったことにより、出荷がなくなり、配給できなかったことである。今後は、あらためて、各団体、町民に対し広く啓蒙を図り、普及の取り組みを進める。



町花「キンセンカ」

**問** 町花普及のためにも、今後各家庭、学校、職場、町内会等の希望者に種、花苗を配布する計画が今後あるのか伺う。

**答** 現在のところ、種、花苗の配布計画はない。

**問** コロナ禍から町民の命と健康を守る対策について

**答** 感染拡大防止対策と社会経済活動対策に取り組む

**問** 新型コロナウイルス感染症は都市部での急速な拡大のみならず、勢いは地方まで広がり、極めて憂慮すべき事態となっている。このような現状についての考えを伺う。

**答** 6月下旬ころから都市部を中心に感染拡大し、今や国内累計7万人を超えている。徐々に減少傾向にあるが、終息の目途は立たず、長期化するとは間違いないといわれている。町民が安全・安心に生活をするための「感染拡大防止対策」と「社会経済活動対策」の両立を図る取り組みとワクチンの早期の開発に期待する。冬期に向け、第3波及びインフルエンザの予防対策に全力を上げて取り組む。

**問** 町内の介護施設、福祉施設、学校など様々な予防の取り組みを行っていると思うが、このようなリスクが高い施設等に勤務する職員に対し、PCR検査が必要と思うが伺う。また町民がPCR検査を要望した時の手順、保健指導はどのような形で行っているのか。高額な費用の助成についても伺う。

**答** 感染リスクが高い施設等に勤務する職員に対するPCR検査は必要と思うが、医療機関や保健所で検査が必要と判断されない以上検査は受けられ

れない。PCR検査は、発熱などの症状が大前提となるものではない。自由診療として自費で医療機関で3万円から4万円程度を全額自己負担で受ける場合があるが、釧路管内で実施している医療機関はない。

**問** コロナ禍における高齢者の健康づくりの対応について

**答** 感染予防対策を周知しながら高齢者に対応する

**問** 運動不足による様々な弊害がマスコミ等で報じられている。本町で取り組まれてきた「健康づくり」の活動の影響と今後の対応について伺う。

**答** 道や国の「緊急事態宣言」の発出から6月1日の解除まで、一部自粛した。自粛期間中、自宅で運動できるようなホームページに動画の掲載、広報誌や新聞へのチラシを活用し呼びかけをした。社会福祉協議会に委託している「生

きがい活動通所事業」については、閉じこもり予防と入浴の機会確保のため、内容の変更と時間短縮して実施した。現在は通常どおり事業を実施しているが、個人の判断で利用を控えている方もいる。影響として、12事業で約40名の利用者の減。今後も安心して参加してもらうよう、高齢者の健康づくりや介護予防に努めていく。

**問** 基準日後に生まれた新生児にも10万円の給付を

**答** 独自の給付金支給は考えてはいない

**問** 国は基準日（4月27日）後に生まれた新生児への「特別定額給付金」（10万円）の給付を対象外とした。誕生日によつて差が出る不公平感はないか。4月28日以降年度内に生まれる新生児にも10万円の独自給付金を支給すべきと思うが伺う。基準日後から現時点の新生児数と例年の出生状況から年度内の見込み数は？

**答** 本町では、「太陽の手」子育て支援として「出産祝い金の支給、18歳までの医療費の無料化、保育料の無料化、学校給食費の無料化、新入学児童・生徒入学支援金の支給」の5つの事業を実施しており、出産祝いの独自施策として、5万円分のシラトピア商品券を贈呈している。趣旨は理解できるところだが、どこで区切っても生まれた日によつて対象とならない場合が必ず生じる。独自の給付金支給は、考えていない。8月末現在の新生児は5名、年度内の出生見込み数は、9月以降3月までで、10名程度と見込まれる。



鎌田 民子 議員





澤原 孝行 議員

**問** オクネツプ川の土砂や草の除去について

**答** 町内の小河川は、防災対策として重要なため定期的に浚渫している

**問** オクネツプ川の栄橋通り1号橋から若葉橋までの土砂や草を除去しているが、集中豪雨があっても川の災害がおきないように、常に土砂や水草がない、きれいな川で、あるべきと思うが伺う。

**答** オクネツプ川の浚渫は、平成28年度に実施し、令和元年度と今年度は、公園通り1号橋から上流へ約700mの浚渫を実施する予定。今後も状況を確認して的確な維持管理に努めたい。



浚渫前のオクネツプ川

**問** 水素技術実証事業の成果について

**答** 地域資源を活用した普及モデルの所期の目的が達成された

**問** 水素技術実証事業の成果はあったとされているが、町の新しいエネルギーとして使用出来ないか伺う。

**答** 環境省による「地域連携・低炭素水素技術実証事業」では、再生可能エネルギーからの水素製造・貯蔵・輸送・利用まで一貫した水素サプライチェーンの構築実証として、全国各地において取り組みが行われている。本町は、国内で初めて小水力由来の電力を直接利用して水素を製造し、地域内で活用する実証として、温水プールなどの施設で利用が進められた。

現在は、施設の解体が終わり、令和3年3月にかけて実証の成果を取りまとめられるが地域資源を活用した普及モデルの確立につなげる所期の

目的が達成されたと伺っている。

水素社会の実現に向けた様々な技術開発と実証が進められている段階であり、コストなどの大きな課題もある中で、一般的に広く普及するには一定期間を要するものと認識している。諸課題の解決にあたって、本町での成果などが生かされて、更なる研究が進められていくものと考えている。

**問** 一年間延長された理由と成果を伺う。

**答** 寒い地域でどのような水素の活用ができるか、またどんな事象が出るかということ、実証事業が延長された。環境省からは、厳寒地域で水素がこういう状況になるという有意義なデータが得られたと聞いている。



水素ガスタンク



福地 裕行 議員

**問** PCR検査センターの開設を

**答** 早期の設置に最善を尽くす

**問** コロナ禍拡大の最大要因は、政府の対策が後手に回ったことだが、肝心のマスメディアまでもが政権を忖度するあまり責任を追及しない不条理に危機感を持つ。ともあれ、集団免疫を獲得しつつあり、これまで以上の感染拡大は無いと判断するが、正しく恐れることが大事である。

**答** 市内への設置がようやく示されたが、検体採取に特化するに聞いている。また早期の実現に向けて関係機関が協議を進めていると聞いている。今後の対応についても私たちが町村も一緒になって積極的に取り組んでいく。

**問** 人ごとのような言い廻しで釈然としない。設置に向けて主体的にどう取り組んできたのか。

**答** わが町独自にPCR検査キットの導入も検討したが、医者との協力が絶対条件でもあり、また陽性になった場合の診療体制の課題などから断念した経緯もある。市内へ一日も早く設置されるよう努力している。

**問** 今後、逐次、町民への周知に努めるべき。

**答** 冬の拡散も心配されるので、弱者を対象に町費でインフルエンザワクチンの予防接種を実施する。補正予算を認めて欲しい。

**問** どうする「核のごみ」

**答** 国の責任で解決すべき

**問** 寿都町が原発から出る高レベル放射性廃棄物（核のごみ）の最終処分場選定を巡る国の文献調査に応募を検討しているが、北海道は言うに及ばず、わが国全体にとっても必ず解決しなければならぬ重大な課題であるにも拘らず、本質を弁えず、ご都合主義の論が大勢を占めていることは嘆かわしい。どう考えるのか。

**答** 原子力政策の根底にある積年の課題である。処分場の誘致につながる文献調査は、北海道全体に関わる重大な事案であるから、十分な議論が尽くされた結果として慎重な判断がなされるべきである。

**問** わが町としては反対だが、国の責任で解決すべき問題である。

**答** 北海道以外に建設するならば認めざるを得ないの思いか。原発によりともあれ、恩恵を被ってきた我々現代がこの

問題を次世代に引き継がない覚悟で解決しなければならぬ。道町村会長でもあるから、当事者として国に対して言うべきことは言いながら、議論を誘導するくらいの気構えが求められる。

**答** 答えにくく難しい判断を迫られるが、北海道の核のごみを道外に、などと安易には考えられないが、今の議論を活かし、国の責任で指針を示すべきである。

**問** 原発は、安心安全でクリーン、しかも安いと洗脳されてきたが、嘘八百だ。しかしどう考えても今すぐ全廃できないとするごみは地層処分しかない。

**答** 機会ある毎に国に対しても言うべきことは言い続ける。

**問** 「エネルギーの森」に名乗りを

**答** 今日までの成果を活かす

**問** 政府はバイオマス発電用の森林を確保する方針として、早生樹を活用する「エネルギーの森」の取り組みを示し

た。わが町では町長主導のもとヤナギに特化し、長年に亘り喧伝しつつ莫大な事業費も投入してきたが、特筆する実績はない。早生樹栽培の先進地と自負するならば、国の事業に名乗りを上げることが得策ではないか。

**答** 平成19年より早生樹の特性に着目し、有用な地域資源として調査・研究を進めてきたが、これまでの成果を活かせる時代が近づいてきた。

**問** 国の具体的な取り組み内容が明らかになったら、積極的に対応していく。

**答** これまでの成果とは？ ヤナギの菌床としても来年くらいには需要も出てくる。期待しているし、当初から木質バイオマス資源としても注目し取り組んできたので、林野庁にも出向き努める。



9月1日：白糠小学校移転計画に関すること  
9月1日：防災・減災に関すること

総務文教常任委員会  
産業厚生常任委員会  
所管事務調査

#### ○白糠小学校移転計画について

昨年度から取り進めている白糠小学校と中学校の統合事業に伴う白糠中学校の改修事業、また、併設する認定こども園、子育て支援センター、発達支援センターの新築事業の概要がまとまったので、今後のスケジュールなどの説明を受けた。

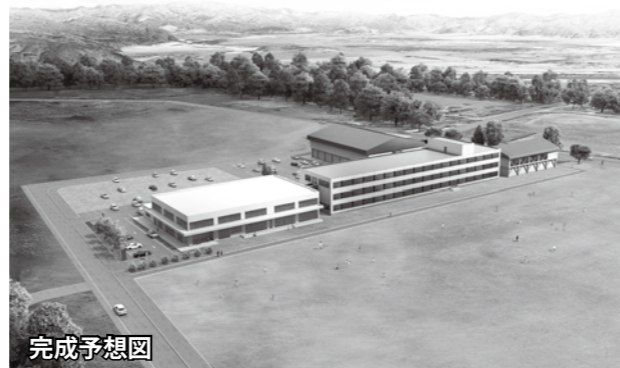
#### ●今後のスケジュール

- ・改修・新築工事及び外構工事は、本年度中に実施設計が完了。
- ・令和3年6月から工事を取り進める。
- ・令和4年8月までの工事期間を見込んでいる。
- ・移転時期は令和3年3月末。
- ・4月から白糠高等学校での授業開始。  
(移転に伴う経費は、令和2年第3回定例会で補正予算を提案。)
- ・新校舎及びこども園等の供用開始の時期は令和4年8月の2学期からの供用開始

#### 【質疑】

問改築校舎が完成するまでに、対象となる子供たちの教育スケジュールは。

答工事期間中は、白糠高校の4階で通常のカリキュラムをこなしてしますので、授業に遅れが出るということはないと考える。



完成予想図

#### ○ケアホーム春風の移転に係る土地の譲渡について

社会福祉法人白糠町社会福祉協議会がサービスを提供している、ケアホーム春風の建物が築40年を経過し、現状の建物では事業を維持することが難しいことから、新築にあたっての町有地の譲渡及び今後の整備計画について説明を受けた。

#### 【質疑】

問令和3年4月から開設予定となっているが、日程的に間に合うのか。

答コロナの影響で準備が2ヶ月ぐらい押している。今回、道の交付金を活用するため、年度内の完成予

定となっているが、コロナの関係で年度内の開設は難しい。道でも遅れる理由が成り立つので開設が5月になったとしても、2年度中の補助の対象とする回答は頂いている。

問北海道の交付金以外の財源の内訳は。

答社会福祉協議会の自己財源で実施する。

※建設予定地は、3ページ「財産処分」を参照願います。

9月1日：町民と議会の懇談会について

議会改革・活性化  
特別委員会

#### ●町民と議会の懇談会について

今年の「町民と議会の懇談会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、経済団体に絞り10月11日に実施した。

懇談会の内容は、次号でお伝えします。



# 委員会・協議会の活動

7月22日：第1次産業の振興・発展に関すること  
10月1日：第1次産業の振興・発展に関すること

産業厚生常任委員会  
所管事務調査

#### ○新規就農対策の現状と今後の取り組みについて

今年着任した農業に従事する地域おこし協力隊2名の活動について、担当課から現在までの活動状況と今後の活動等の説明を受けました。

#### 【質疑】

問新規就農者、最終的に何名くらい募集し、和天別の農地に何名を入植させるのか。

答最終的な人数の制限は設けない予定でいる。和天別の圃場は、7.4haで、人数制限は載せていないので、先着順となる。以後ここが埋まったら第2、第3の農地は、町で確保しなければならないと考えている。

問地域おこし協力隊の方は、今も研修に行っているのか。

答1年目なので、地元の農家に行き一緒に作業しながら学ぶ手法でやっている。大前産業と宮木農園に毎日行き一緒に研修作業をしながら学んでいる。

問農閑期はどうするのか。本州当たりの先進地に行き研修をするのか。

答1名は野菜と酪農という話で冬期間は酪農の研修をもう1名は野菜オンリーで冬場も育てられるように施設野菜の研修もしたいということで、今後そういった研修をしていただく予定。



研修の様子

9月1日：白糠小学校移転計画に関すること  
9月30日：防災・減災対策に関すること

総務文教常任委員会  
所管事務調査

#### ○白糠小学校移転計画について

白糠小学校と中学校の統合事業に伴い、来年4月から白糠中学校の校舎改修期間中の移転先となる白糠高校の使用にあたり、必要となる教室等の間仕切り、電話、電源設備等に係る経費と備品類の運搬(引越)経費等について説明を受けました。

#### 【質疑】

問給食車の搬入口は、どこになるのか。

答白糠高校の正面玄関の現在使われていない部分を修繕し、そこから搬入する予定。

問移転先が4階だが、配送のコンテナどうやって4

階まで上げるのか。

答まだ学校の方とは細部まで詰めていないが、給食を食べる場所として2階にある多目的ホール、空き教室の利用を白糠高校と協議していきたいと考えている。

問搬入口は予算措置されていないが、独自で道が行うのか。

答搬入口は、道が発注し修繕することとなっている。



いつでも  
どこでも

# 議会の出前懇談会

## ～開催団体・グループ募集中～

議会では、団体やグループの希望申し出により、いつでも、どこでも開催する「議会の出前懇談会」を行っています。皆様のご意見をお聞かせください。



### 開催方法・要件

**対象** 町内在住の方**5人以上**の出席見込みがある任意の団体やグループ。  
(例) 町内会、婦人部、老人クラブ、PTA、子育てサークルなど。

**懇談時間** 約**1時間30分程度**

**会場** 申請者が指定する会場。  
(公共施設利用の場合は、議会事務局が申し込みます。)

**申込方法** 開催を希望する日の**2週間前**までに「議会の出前懇談会申込書」により議会事務局へ申し込んでください。  
※(議会会期中はご遠慮願います。)

#### 【申し込み・問い合わせ先】

白糠町議会事務局 電話：01547(2)2171 (内線 303)

FAX：01547(2)4659

mail：giji@town.shiranuka.lg.jp

申込書は、白糠町ホームページから入手できます。

### 開催までの流れ

①懇談したいテーマ等を決めて、申込書により議会事務局へ申し込んでください。



②議会運営分科会で派遣する議員を調整します。



③当日は、テーマの内容を担当する分科会が出向いて意見交換を行います。



④いただいた意見は議会へ持ち帰り、調査検討します。

### 担当分科会別による主なテーマ

- ①総務・文教分科会  
防災・教育・財政及び税等に関すること
  - ②産業・厚生分科会  
産業、民生福祉・土木・介護保険等に関すること
  - ③議会運営分科会は  
議会運営に関すること
  - ④広報・広聴分科会  
議会だより・議会ホームページ等に関すること
- 上記のほかにご希望がある場合は申し込み時にご相談ください。

# 追跡

あの案件は  
どうなった？



## アントキノシツギ

### 町営住宅について

平成30年第3回定例会  
小池議員の一般質問

入居条件を緩和して利用を高める方法や、ちょっと暮らしのように目的外の利用を増やす方策は検討しているのか。

答弁

### 条件を緩和して運用することは、原則できない

公営住宅法に基づく入居条件が定められている。収入基準や世帯の人員などの条件を緩和して運用することは、原則できない。入居の促進を図るため、入居者の募集の回数や時期の見直しは検討を進める。

どうなった

### 60歳以下の単身者も入居が可能に

公営住宅法の一部改正に伴い白糠町営住宅管理条例の一部を改正し、町営住宅への入居者資格の基準を緩和し、低所得単身者が入居できるようになった。



公営住宅

### 白糠消防支署について

平成30年第1回定例会  
福地議員の一般質問

女性団・職員を想定しての基本設計、実施設計、併せて、白糠消防支署に是非ヘリポートを設置していただきたい。

答弁

### 関係機関とも十分に協議し検討する

女性消防団員や女性消防職員の登用、配属または、災害時の一時避難にあたり、女性への配慮も必要と考えている。また、消防庁舎に隣接し通年使用できるヘリポートの設置に向けて検討する。

どうなった

### 令和2年新白糠消防庁舎完成

女性用トイレやバスルームを備えた女性専用仮眠室が設けられたほか、庁舎に隣接してヘリポートが整備された。更にソーラーパネル、地中熱ヒートポンプ冷暖房施設まで設置された。



消防庁舎ヘリポート





## 広報の目



▲社会福祉センター前の「母子像」



▲「母子像」横の石碑

「母子像」愛は白糠町女性ボランティアクラブ創立10周年を記念し、1980年に（故伊藤三枝会長）建立された。今年は50周年にあたり、124名の会員が廣谷スマ子会長と共に絆を大切に活動している。  
撮影：小野キサ広報広聴調査特別委員会副委員長



## あとがき

9月定例会も引き続き、新型コロナウイルス感染症対策関係事業費が補正されました。特に、元気!!しらぬか応援券（第3弾）と水道・下水道基本料金の免除期間延長に「うれしい、助かるー」の声を多く聞きました。

本来ならば今年は東京オリンピック・パラリンピック開催の年でした。私事ですが、56年前の東京オリンピックに修学旅行日程の一環で天皇皇后両陛下の入場と依田選手のハードルを観戦しました。といっても、どちらも豆つぶ大にしか見えませんでした・・・。

議会だより前回から”広報の目”欄を設け、各委員が思い思いのテーマで写真を掲載します。

今後とも読みやすい紙面づくりに取り組んで参ります。  
（鎌田）



## 今号の表紙



今号の表紙は、交通安全運動推進協議会が主催する白糠町制施行70周年記念「交通安全パークゴルフ大会」です。スタート時は曇りでしたが、競技が進むにつれ天気も良くなり絶好のパークゴルフ大会でした。大会の結果は、広報しらぬか10月号に掲載されています。